

# 第2次集中改革プラン

## —平成25年度取組実績報告書—

【後期計画】 平成25年度～平成27年度

平成26年7月

菊 川 市

# 目 次

1 第2次集中改革プラン後期計画 施策の体系図	..... 1
2 第2次集中改革プラン後期計画 指標・目標値	.....2~4
3 第2次集中改革プラン後期計画 実施メニュー目標一覧表(進捗状況総括表)	..... 5
4 第2次集中改革プラン後期計画 個別進捗状況	
この資料の見方	..... 6
実施メニューごと進捗状況	..... 7~47

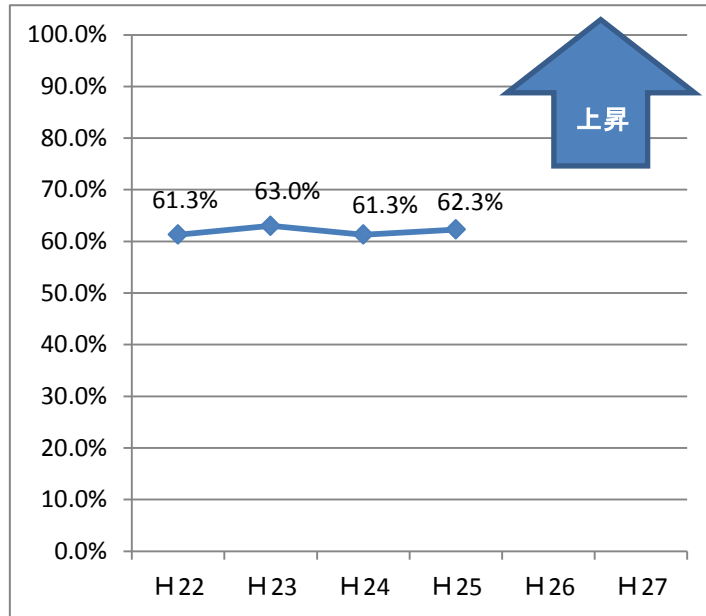
# 1 施策の体系図

目標	基本方針	改革の方策	計画項目(集中改革プラン項目)	具体的な取り組み(実施メニュー)	ページ			
市民満足度の高い市政運営	A 市民に信頼される行政の実現	市民と行政との協働による活動推進	1 多様な担い手の育成	1 市民活動団体の育成	7			
			2 コミュニティ協議会の活性化	2 男女が共に多様な能力を発揮できる環境づくり	9			
		市民サービスの向上	3 行政サービスの見直し	3 課題発見型コミュニティ協議会への成長促進	3 課題発見型コミュニティ協議会への成長促進	10		
				4 市民活動における中間支援のしくみづくり	4 市民活動における中間支援のしくみづくり	12		
				5 認可保育園の延長保育の拡充	5 認可保育園の延長保育の拡充	13		
				6 指定管理者制度導入施設の運営状況の評価によるパートナーシップの強化	6 指定管理者制度導入施設の運営状況の評価によるパートナーシップの強化	14		
				7 支所の今後の活用に関する調査・研究	7 支所の今後の活用に関する調査・研究	15		
				8 普通救命講習会の推進	8 普通救命講習会の推進	16		
				9 体育施設(3体育館及び学校体育館以外)の指定管理者制度の検討	9 体育施設(3体育館及び学校体育館以外)の指定管理者制度の検討	17		
		新公共経営の推進	4 施設の運営形態の見直し	10 給食センターの運営形態の検討	10 給食センターの運営形態の検討	18		
				11 デイサービスセンターの運営形態の検討	11 デイサービスセンターの運営形態の検討	19		
	12 新幼保園の運営の検討			12 新幼保園の運営の検討	20			
	13 補助金の見直しの実施			13 補助金の見直しの実施	21			
	14 使用料・手数料の見直しの実施			14 使用料・手数料の見直しの実施	22			
	組織力の向上	5 選択と集中のための評価の実施	15 民間委託基本方針の見直し	15 民間委託基本方針の見直し	23			
			6 人事管理の効率的な推進	16 時間外勤務の抑制	24			
			7 職員力を高める環境整備と職場風土の醸成	17 職員数の管理と適正配置の実施	17 職員数の管理と適正配置の実施	25		
				18 元気な菊川市を創造する職員の育成	18 元気な菊川市を創造する職員の育成	26		
				19 現場からの業務改善の推進と職員提案制度の改善	19 現場からの業務改善の推進と職員提案制度の改善	27		
			B 簡素で効率的な行政の実現	安定した財政基盤の確立	8 市税等の収納率の向上	20 市税の収入率の向上	20 市税の収入率の向上	28
						21 国保税の収納率の向上	21 国保税の収納率の向上	30
	22 保育料等の収納率の向上	22 保育料等の収納率の向上				32		
	23 給食費の収納率の向上	23 給食費の収納率の向上				33		
	24 上下水道料の収納率の向上	24 上下水道料の収納率の向上				35		
	25 介護保険料の収納率の向上	25 介護保険料の収納率の向上				36		
	26 病院の未収金の収納率の向上	26 病院の未収金の収納率の向上				37		
	27 市営住宅使用料の収納率の向上	27 市営住宅使用料の収納率の向上				38		
	9 財政力の向上	28 実質公債費比率及び将来負担比率の適正化				28 実質公債費比率及び将来負担比率の適正化	39	
		29 積立金と借入金の差額の黒字化				29 積立金と借入金の差額の黒字化	40	
		30 公共施設の長寿命化計画の策定				30 公共施設の長寿命化計画の策定	41	
		31 公営企業会計(水道)の経営健全化		31 公営企業会計(水道)の経営健全化	42			
	10 公営企業会計の健全化	32 公営企業会計(病院)の経営健全化		32 公営企業会計(病院)の経営健全化	43			
		11 歳入の確保と地域経済の活性化		33 広告事業の検討	33 広告事業の検討	44		
				34 地域産業の強化	34 地域産業の強化	45		
			35 ビジネス農業体への支援	35 ビジネス農業体への支援	46			
		36 茶業の振興	36 茶業の振興	47				

## 第2次集中改革プラン後期計画 指標・目標値

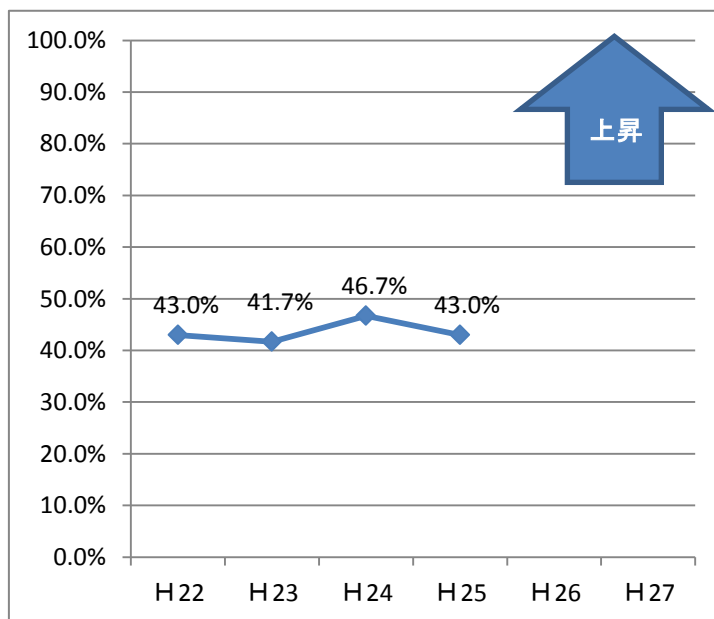
### 1 市民満足度

市民の力が住み良いまち  
づくりに活かされているま  
ちだと感じている市民の  
割合



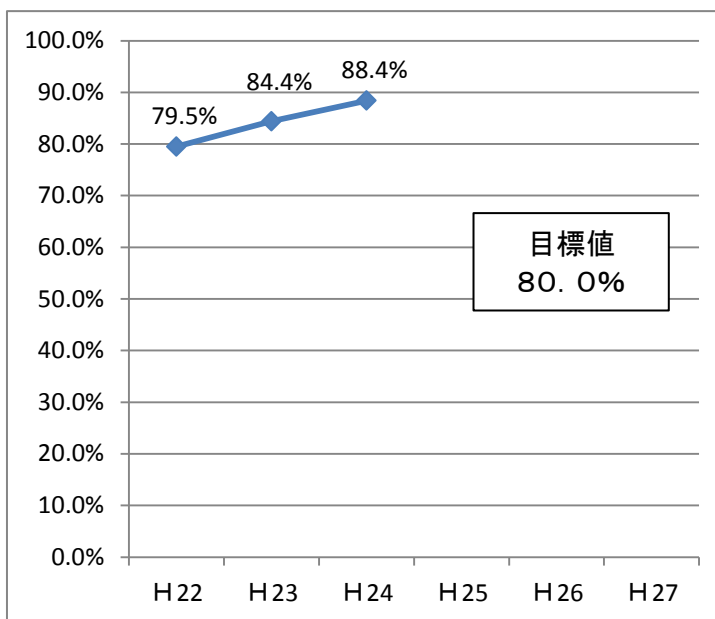
### 1 市民満足度

多様なニーズに対応でき  
る効率的・効果的な行政  
運営が行われているまち  
だと思える市民の割合



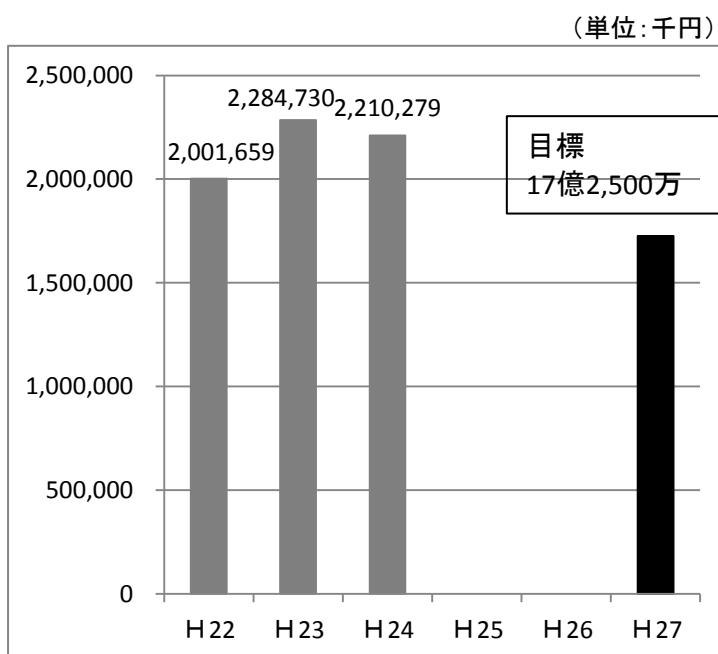
## 2 財政力指数

經常収支比率



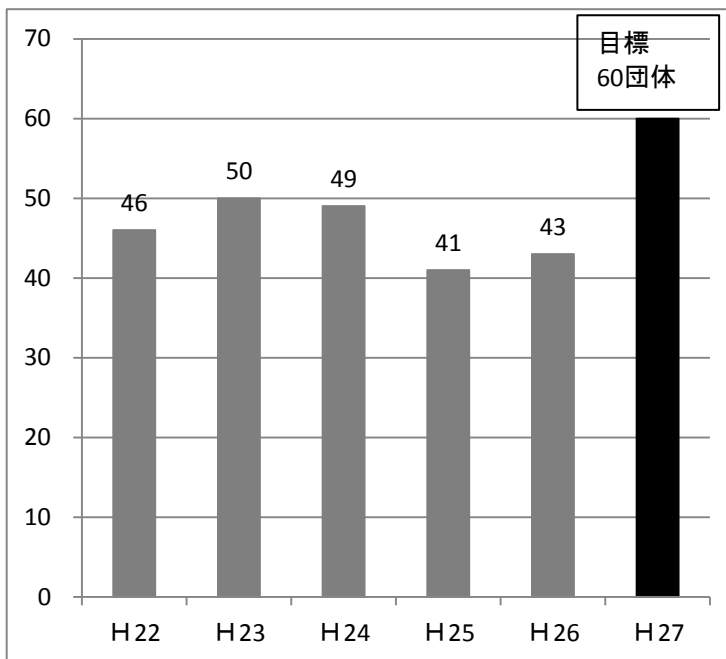
## 2 財政力指数

財政調整基金残高



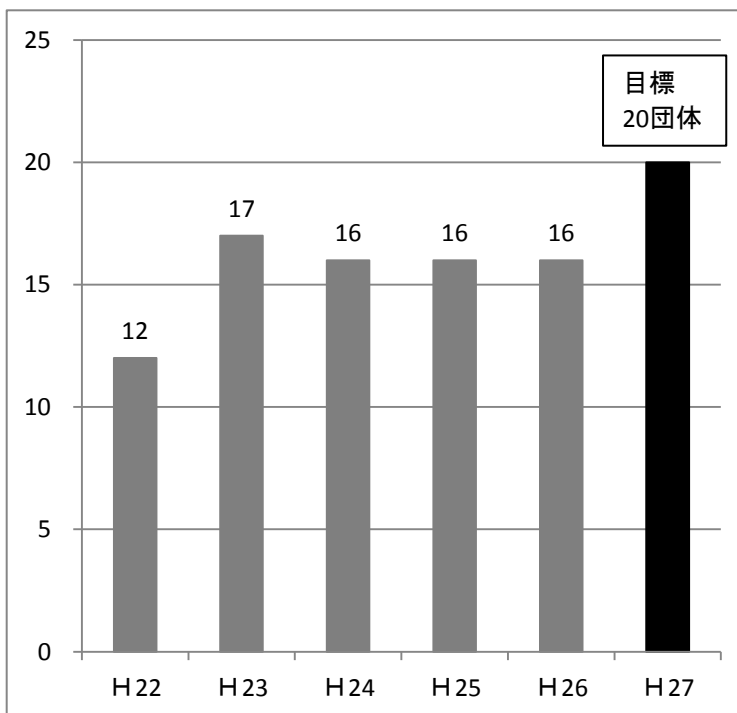
### 3 市民活動団体の育成

地域づくり活動を  
推進する団体数



### 3 市民活動団体の育成

認証NPO法人数



3 第2次集中改革プラン後期計画(平成25～27年度)実施メニュー目標一覧表(進捗状況総括表)

区分	担当課	平成25年度目標	達成状況(3月末)			平成26年度	平成27年度	ページ		
			計画(%)	実績(%)	進捗度					
市民と行政との協働による活動推進	多様な担い手の育成	1 市民活動団体の育成	地域支援課	54団体	100	80	未達成	57団体	60団体	7
		2 男女が共に多様な能力を發揮できる環境づくり	地域支援課	11%	100	93	未達成	18%	25%	9
	コミュニティ協議会の活性化	3 課題発見型コミュニティ協議会への成長促進	地域支援課	5協議会	100	100	達成	8協議会	11協議会	10
		4 市民活動における中間支援のしくみづくり	地域支援課	検討 設置場所の決定	100	100	達成	検討 施設概要及び管理運営手法決定	方針決定・開設準備 契約の締結	12
市民サービスの向上	行政サービスの見直し	5 認可保育園の延長保育の拡充	幼児教育課	6園	100	100	達成	7園	8園	13
		6 指定管理者制度導入施設の運営状況の評価によるパートナーシップの強化	企画政策課	指針・マニュアルの整備	100	100	達成	新たな制度に基づく運用	継続実施	14
		7 支所の今後の活用に関する調査・研究	企画政策課 小笠総合サービス課	方針決定 外部組織による調整・方針決定	100	50	未達成	市民への周知 審議結果に基づき市民へ周知	実施 運用開始	15
		8 普通救命講習会の推進	消防本部	5,250人	100	100	達成	5,750人	6,300人	16
新公共経営の推進	施設の運営形態の見直し	9 体育施設(3体育館及び学校体育館以外)の指定管理者制度の検討	社会教育課 都市整備課	検討 庁内検討会を組織し、検討	100	100	達成	方針決定 教育委員会の承認、条例改正、 選定委員会開催	実施 運用開始	17
		10 給食センターの運営形態の検討	教育総務課	検討 直営・委託比較、運営委員会、教育委員会での方針決定、議会へ報告	100	95	未達成	方針決定 委託する場合 保護者への説明、条例整備、委託方法内容検討、業者選定	方針に基づき実施	18
		11 デイサービスセンターの運営形態の検討	長寿介護課	検討 管理運営形態の検討、計画案の作成	100	100	達成	方針決定 計画案に基づき方針決定	実施 方針に基づき実施	19
		12 新幼保園の運営の検討	幼児教育課	方針決定 条例制定	100	100	達成	幼保園運営開始	継続運営(検証・検討)	20
	選択と集中のための評価の実施	13 補助金の見直しの実施	企画政策課、財政課	第1次候補事業の抽出	100	100	達成	第2次候補事業の選定、補助金 仕分けの実施	予算反映、結果公表	21
		14 使用料・手数料の見直しの実施	企画政策課、財政課	継続実施	100	100	達成	準備	見直し実施	22
		15 民間委託基本方針の見直し	企画政策課、財政課	対象事業の選定 担当課による自己評価 評価の確定	100	80	未達成	次年度予算反映、結果公表	継続実施	23
組織力の向上	人事管理の効率的な推進	16 時間外勤務の抑制	総務課	職員一人当たり平均時間外時間を100時間以下に抑制	100	100	達成	前年度実績を下回る	前年度実績を下回る	24
		17 職員数の管理と適正配置の実施	総務課	継続実施 314人	100	100	達成	継続実施 311人	継続実施 308人	25
	職員力を高める環境整備と職場風土の醸成	18 元気な菊川市を創造する職員の育成	総務課	継続実施 研修参加人数300人	100	100	達成	継続実施 研修参加人数300人	継続実施 研修参加人数300人	26
		19 現場からの業務改善の推進と職員提案制度の改善	企画政策課	1課1係1人1件以上 提案制度の改善検討、実施	100	100	達成	1課1係1人1件以上 政策提案制度の実施	1課1係1人1件以上 優秀事例発表会の実施	27
安定した財政基盤の確立	市税等の収納率の向上	20 市税の収入率の向上	税務課	個人市民税90.80%	100	100	達成	個人市民税91.00%	個人市民税91.00%	28
				固定資産税95.30%				固定資産税95.30%	固定資産税95.30%	
				軽自動車税93.00%				軽自動車税93.00%	軽自動車税93.00%	
	市税等の収納率の向上	21 国保税の収納率の向上	市民課	現年分94.30% 滞繰分16.20%	100	99.9	未達成	現年分94.30% 滞繰分16.20%	現年分94.30% 滞繰分16.20%	30
		22 保育料等の収納率の向上	こどもみらい課	現年分99.20% 滞繰分15.70%	100	100	達成	現年分99.20% 滞繰分16.00%	現年分99.20% 滞繰分17.00%	32
		23 給食費の収納率の向上	給食センター	現年分99.91%	100	99.9	未達成	現年分99.91%	現年分99.91%	33
		24 上下水道料の収納率の向上	水道課、下水道室	上水道現年分98.00% 下水道現年分98.32%	100	100	達成	上水道現年分98.00% 下水道現年分98.32%	上水道現年分98.00% 下水道現年分98.32%	35
		25 介護保険料の収納率の向上	長寿介護課	普通徴収分 現年分88.13% 滞繰分16.52%	100	99.3	未達成	普通徴収分 現年分88.17% 滞繰分16.54%	普通徴収分 現年分88.20% 滞繰分16.56%	36
		26 病院の未収金の収納率の向上	菊川病院	未収金比率0.025%以内	100	100	達成	未収金比率0.025%以内	未収金比率0.025%以内	37
		27 市営住宅使用料の収納率の向上	都市政策課	現年分98.90% 滞繰分18.00%	100	99	未達成	現年分98.90% 滞繰分18.00%	現年分98.90% 滞繰分18.00%	38
	財政力の向上	28 実質公債費比率及び将来負担比率の適正化	財政課	→	100	100	達成	→	実質公債費比率14.0%未満 将来負担比率110%未満	39
		29 積立金と借入金の差額の黒字化	財政課	黒字化	100	100	達成	黒字化	黒字化	40
		30 公共施設の長寿命化計画の策定	財政課	検討・準備 施設の選定	100	100	達成	計画策定 委託の実施、長寿命化計画の取りまとめ・全体計画の策定	実施 計画に基づく修繕の実施	41
	公営企業会計の健全化	31 公営企業会計(水道)の経営健全化	水道課、下水道室	経常利益額30,000千円	100	87.4	未達成	経常利益額30,000千円	経常利益額30,000千円	42
32 公営企業会計(病院)の経営健全化		菊川病院	経常収支比率95%	100	100	達成	経常収支比率99%	経常収支比率100%	43	
歳入の確保と地域経済の活性化	33 広告事業の検討	企画政策課	調査・検討・実施	100	100	達成	実施(新規・継続)	実施(新規・継続)	44	
	34 地域産業の強化	商工観光課	→	100	100	達成	→	企業誘致3件 セミナーの開催 6次産業を1件以上創出	45	
	35 ビジネス農業体への支援	農林課	15ビジネス農業体	100	100	達成	16ビジネス農業体	17ビジネス農業体	46	
	36 茶業の振興	茶業振興室	3茶工場(当該年度実施数)	100	100	達成	10茶工場(増加数)	10茶工場(増加数)	47	

#### 4 第2次集中改革プラン 個別進捗状況

### ◆この資料の見方

この資料はPDCAサイクルに沿って記載されています。

P	実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成○年度実施内容(計画)																														
					H25	H26	H27																															
計画を記載しています。																																						
D	取組概要	月 旬	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
			上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
	1	計画																																				
		実績																																				
	2	計画																																				
		実績																																				
9月又は3月までの取組みを表しています。																																						
C	目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)						A	課題と今後の取組み(A)																													
	実績( )	9月又は3月までの実績と進捗状況を記載しています。							課題とそれを踏まえた今後の取組みを記載しています。																													



A 市民に信頼される行政の実現

◆ 市民と行政との協働による活動推進

1 多様な担い手の育成

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)						
				H25	H26	H27							
1 継	公共サービスの新たな担い手となりうる市民活動団体について、1%地域づくり活動交付金制度の検討を行い、交付申請団体数を増加させる。	平成27年度までに60団体 (従前値) H24 49団体	地域支援課	54団体	57団体	60団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審査委員会を開催し、制度の見直しについて協議する。</li> <li>・活動報告会等を通じて、先進的な活動を多くの団体に紹介する。</li> <li>・NPO法人等に対し個別に制度のPRを行い、新規申請件数を増やす。</li> </ul>						
取組概要	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1	1%地域づくり活動交付金の適正な運用(審査委員会・申請受付・公開審査会)	計画			★			申請受付(地域づくり)		★	★	★	★
	実績		審査委員会(制度の検証と改正案の提示)			★	★	★	★	★	★	★	★
2	1%地域づくり活動交付金活動報告会の開催	計画						活動報告会企画書作成(発表団体の決定、討論テーマ検討)					★
	実績												★
3	1%地域づくり活動交付金制度のPR	計画						募集要項の配布、周知(市HP、回覧等)					
	実績							募集要項の配布、周知【9/19から周知開始】					
4	制度の個別説明・PR	計画						制度の個別説明(NPO法人や設立間もない市民団体等へのPRを重点的に行う)					
	実績							制度の個別説明					
5		計画											
	実績												
6		計画											
	実績												

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	<p>【制度のPR】 市内の市民活動に関する情報を収集し、交付金事業に該当しそうな団体に対し、直接制度の説明を行うとともに、申請書作成にあたっての相談に対応した。</p>	<p>地域づくり団体においては、申請受付から審査、採択・不採択の決定まで平成26年度分交付金の一連の事務が完了した(申請団体32、採択団体31)。目標数には届かなかったものの、様々な団体に対して直接的な制度紹介・PRを行った結果、5件の新規申請に繋げることができた。</p> <p>25年度分の申請から単位自治会の単独による申請を本交付金の地域づくり団体の定義から除外することが決定された結果、それ以降の申請数が落ち込んでいる(H24:49団体→H25:41団体…内単位自治会は5、22年度以降では9単位自治会からの申請が無くなった)。またコミ協に加わった団体や社協の補助金を活用する福祉系の団体もあり、目標値との開きが大きくなっているが、H25とH26を比べると、新規団体の掘り起こしもあって2件のプラスとなっている。27年度分の申請に向けては、NPO法人を中心に団体への個別アプローチを早い段階から行い、新規団体による申請件数を更に増やしていく。</p> <p>活動報告会では、これまで「市民協働の必要性」といった漠然としたテーマで開催してきたが、今年度はより具体的な内容とし、従来の活動に限界を感じていた団体に対し新たな活動の広がりのヒントとなるよう、「子どもや学生を巻き込んだ市民活動」をテーマに事例発表や意見交換を実施する。</p>
実績(%)	<p>【審査委員会】 ・第3回審査委員会(11/20)…申請内容の説明及び審査のポイントの整理を行った。</p>	
80	<p>・最終審議会(11/29)…公開活動審査会での採点結果を基に、採択、不採択についての最終審議を行った。(採択31、不採択1、採択額合計3,524,000円)</p> <p>【申請受付・公開審査会】 ◎地域づくり団体 ・H26交付金申請受付(10/15～11/8)…32団体より申請があった。(申請額合計3,824,000円) ・公開活動審査会(11/23)…申請があった32団体の活動について公開審査会を開催。16団体がプレゼンテーションを行った。(16団体は書類審査のみ)</p> <p>◎コミュニティ協議会 ・H26交付金申請受付(2/3～2/24)…全11地区 ・公開活動審査会(3/9)…全11地区のコミュニティ協議会によるプレゼンテーション及び活動審査</p> <p>【活動報告会】 ・H25年度1%地域づくり活動交付金事業活動報告会(3/23)…団体の活動発表、パネルディスカッション</p>	
未達成		

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
2 新							
男女が共に多様な能力を發揮できる環境づくり	男女が共に地域活動へ積極的に参画し、誰もが知識、経験、技能を活かし、まちづくりの重要な担い手として活躍できるように支援を行う。	コミュニティ協議会役員のうち、女性の率を25%とする  (従前値) H24 8%	地域支援課	11%	18%	25%	・男女共同参画推進講演会を開催し、地域における女性の参画を促す。 ・地域活動に参加するきっかけづくりとして市民活動推進講座を実施。 ・コミ協活動への女性参画を促すテーマを絞った情報提供。(防災)

取組概要	月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
1 市民活動推進講座の実施	計画													★	★	★																					
1 市民活動推進講座の実施	実績																																			★	
2 男女共同参画推進講演会の開催	計画																																				
2 男女共同参画推進講演会の開催	実績																																				
3 コミュニティ協議会定例会等への地区担当職員の参加	計画																																				
3 コミュニティ協議会定例会等への地区担当職員の参加	実績																																				
4 男女共同参画推進懇話会の開催	計画																																				
4 男女共同参画推進懇話会の開催	実績																																				
5 男女共同参画啓発セミナーに関する情報提供	計画																																				
5 男女共同参画啓発セミナーに関する情報提供	実績																																				
6 女性が主となって活動する団体の掘り起こしとコミ協との連携促進	計画																																				
6 女性が主となって活動する団体の掘り起こしとコミ協との連携促進	実績																																				

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	「シニア」と呼ばれる世代の方々に、地域活動に積極的に参加してもらうため、その一歩を踏み出すための後押しとなることを目的とした講座「セカンドライフセミナー」を全3回開催した(11/12、11/20、11/26)。参加延べ人数53名、うち女性38名。 12月に実施したコミュニティ協議会懇話会において、次年度の各コミ協の役員人事にあたり女性の積極的な登用をお願いした。	コミュニティ協議会役員への女性の登用については、2回のコミ協懇話会及び各地区定例会においてその必要性を訴えた。各コミ協でも女性参画の意義については十分理解しているものの、実際には女性に役員就任をお願いしても、なかなか引き受けてもらえないという現状がある。
実績(%)	「女性と防災」をテーマに男女共同参画推進講演会を3回実施(小笠東10/24、六郷11/16、西方1/24)。地域の意思決定の場に女性が参画することの重要性を説いた。参加延べ人数152名、うち女性78名。	本年度、自主防災組織への女性の参画の重要性に関する講演会を開催した地区の協議会への働きかけを行うとともに、防災をはじめとした地域における身近なテーマを取り上げながら、女性側の意識改革を促す啓発事業を行っていく。
93	11のコミュニティ協議会の定例会等に113回、延べ130人出席した。男女共同参画推進懇話会は予定通り2回開催できた(7/30、12/25)。	
未達成	男女共同参画啓発セミナーに関する情報提供は、広報や会議等を通じて5回行った。 女性主体の団体の掘り起こし等は、市民活動なんでも相談会を通じて、福祉関係の女性団体(1団体)の組織運営に対するアドバイスを継続中。 ※ 11協議会 186人中19人(10.2%)	

A 市民に信頼される行政の実現

◆ 市民と行政との協働による活動推進

2 コミュニティ協議会の活性化

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)									
				H25	H26	H27										
3 継	課題発見型コミュニティ協議会への成長促進	平成27年度までに11協議会で課題発見型活動を年1回以上実施  (従前値) H24 3協議会	地域支援課	5協議会	8協議会	11協議会	・コミ協定例会への参画、先進事例紹介、活動実施に向けたアドバイス ・活動を促すためのテーマを絞った情報提供(講演会等) 「テーマ:防災」 ・各コミ協代表による懇話会を開催し、課題発見型活動の情報交換を行う									
取組概要	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1 地域活動支援アドバイザーによるコミ協・市民活動団体等へのサポート	計画															
	実績	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
2 各種セミナーへの職員の参加(コミ協、市民団体等への情報提供)	計画															
	実績	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
3 テーマを絞った効果的な情報提供	計画															
	実績								★	★	★	★	★	★	★	★
4 コミュニティ協議会懇話会の開催	計画															
	実績							★				★				
5 市民活動推進講座の実施	計画															
	実績															
6 市民協働推進庁内会議の開催	計画															
	実績															

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	アドバイザー等によるサポートでは、市民活動推進講座受講者のフォローアップ相談会(11月)、コミュニティ協議会懇話会での講義(12月)、市内NPO法人交流会での講義(1月)、協働推進庁内WGでの講義(2月)を実施。また、ふじのくに西部NPO活動センターと連携し、毎月第3水曜日の「市民活動なんでも相談会」を継続開催している。	コミュニティ協議会の活動のあり方として、市では「イベント型」→「課題発見型」→「まちづくり型」へとステップアップしていくことを理想としており、各地区においても理解をいただいているところである。
実績(%)		コミ協の課題発見型活動とは、自治会と連携しながら、今ある地域課題や今後予想される問題に対して、講演会や出前行政講座、訓練、イベント等を通じて住民の自助・共助の意識を高めていくといった内容の活動とする。
100	セミナーへの職員参加は延べ10回のセミナーに延べ24人の職員が参加した。	現状として、半数近くのコミ協で地域防災をテーマとした講演会や出前行政講座、訓練等の活動が展開されており、今後はこれらの活動の実効性がより高まるよう、地区担当職員を通じたアドバイスを継続していく。
達成	<p>「女性と地域防災」をテーマとした講演会を3地区で実施(小笠東10/24、六郷11/16、西方1/24)。男女共同参画の視点から、地域の防災体制に関する問題点等を指摘し、地域でできる防災対策について認識を深めた。</p> <p>12月に開催した第2回コミュニティ協議会懇話会では、効果的なプレゼンテーションのノウハウを学ぶ講義と、課題発見型活動に関する事例紹介及び意見交換を行った。(コミ協の会長、副会長を中心に全11地区より計22名が参加)</p> <p>市民活動推進講座は、10月にワークショップ、11月にセカンドライブセミナー(全3回)を実施。また、悪天候により延期していたフィールドワーク(先進地視察)を3月16日に実施。</p> <p>市民活動庁内検討会の第2回会議を2月28日に開催。(内容:官民協働事例の紹介)</p> <p>その他、社会福祉協議会が各地区における福祉活動の拠点づくりとしてコミ協内に設置を進めている「地区社協」の導入に関する説明会、打合せ会にそれぞれの地区担当職員が参加した。</p> <p>※ 課題発見型活動を実施している団体数=5団体</p>	

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
4 新	市民活動における中間支援のしくみづくり	平成27年度に方針決定	地域支援課	検討	検討	方針決定・運営準備	・他市町の中間支援施設を訪問し、市民活動に関する情報収集を行う。 ・既存施設の有効活用の視点をもって、市民活動支援センターの設置場所を決定する。(施設改修設計料の予算化)

取組概要	月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
1 中間支援センターの設立に向けた検討(他市町のセンター運営に関する情報収集)	計画																																				
	実績																																				
2 センターの業務内容と配置人数の検討(直営との経費比較)	計画																																				
	実績																																				
3 センター設置場所の検討及び決定(施設所管課との協議と経費比較)	計画																																				
	実績																																				
4 市長会、政策会議、議会への説明	計画																																				
	実績																																				
5 市民協働推進庁内会議の開催	計画																																				
	実績																																				
6 予算要求	計画																																				
	実績																																				

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	中東遠地域及び県西部地域の行政と中間支援センターの職員による合同会議(中東遠7/31、3/5・西部10/7、2/20)を通じて、センターの事業内容(委託事業、自主事業)や利用の状況等について情報交換を行った。	中間支援センターの設置構想については、素案を作成し、市長会での了承を得た。設置場所に関しては、全庁的な調整のなかでいくつかの候補地が挙がっており、本庁舎東側市有地の活用の中でも検討している。施設設置位置の決定時期及び関連予算の要求については延伸することとなった。
実績(%)		
100	施設の検討にあたり、中間支援センターに必要な部屋数及び各部屋の面積を算出した。	
達成		

A 市民に信頼される行政の実現

◆ 市民サービスの向上

3 行政サービスの見直し

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)																
				H25	H26	H27																	
5   新	認可保育園 延長保育の 拡充	延長保育実施 園数 H25 6箇所 H26 7箇所 H27 8箇所  (従前値) H24 6箇所	幼児教 育課	実施	継続実施	実施	・未実施園に対して 説明、実施への働き かけを行なう																
取組概要				月	4月	5月		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
				旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
1	新幼保園の運営方針 の検討の中で協議。 11月までに次年度から の実施案を作成。	計画 実績																					
2	次年度実施の延長保 育事業に係る予算案 への反映。	計画 実績																					
3	次年度実施の延長保 育事業に係る規則の 改正	計画 実績																					
4	延長保育未実施園へ の説明(園長会議の際 に説明)。次年度実施 の意向確認。	計画 実績				★								★									
5		計画 実績																					
目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)											課題と今後の取組み(A)											
100	H25.12 おおぞら幼保園延長保育予算要求 河城保育園長と延長保育について協議、30分 のみの											平成26年度目標値は達成する見込みとなった。 平成27年度目標値に向けて引続き検討協議を進める。ま た、延長保育を実施するためには1園500万円程度の補助 金が必要となることから財源についても検討を進める。  次年度は、現行の実施園を現行の6園+1園の7園とする計 画。 ・新規実施予定園・・・おおぞら幼保園保育部 なお、おおぞら幼保園のH26運営計画に延長保育を事業 化済。 ・未実施見込みの3園についても協議を続けていく。  ※H26年度策定予定の子ども子育て支援計画による保育事 業への影響がある場合、制度の見直しが見込まれる。											
実績(%)	延長保育の実施継続、1時間の延長保育につ いては																						
100	ニーズがあれば検討するとのことであった。 H25.12～ おおぞら幼保園入園児説明会において延長 保育																						
達成	概要説明実施 H26. 1～ 延長保育実施要綱及び規則の改正  平成25年度実績(延長保育実施園) 6園 ・西方、愛育、菊川、双葉、横地、ひかり																						





A 市民に信頼される行政の実現

◆ 市民サービスの向上

3 行政サービスの見直し

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
7   新	支所の今後の活用に関する調査・研究	H27年度実施	企画政策課 小笠総合サービス課	方針決定	市民へ周知	実施	支所の機能や市民サービスに関する課題・問題点の洗い出しなどを行うとともに、諸問題の調整を進め、支所の今後のあり方の方針(案)を策定する。

取組概要	月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
1 庁内調整会議	計画		★		検討方法確認									関係課と調整			方針原案の立案								方針案決												
	実績		★			★									★	★																			★		
2 関係各部、各課	計画			検討方法立案				調査・報告書作成																													
	実績			窓口業務についての研究・調整(調整会議へ報告)												意見聴取																					
3 支所活用部署	計画													諸問題の調整																							
	実績																																				
4 市長会・政策会議	計画																								市長会・政策会議												
	実績																																				
5 まちづくり審議会	計画																																				
	実績																																				
6 議会	計画																																				
	実績																																				

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	○11月29日に市長会で、「庁内調整会議」の検討状況と今後の調整の基本となる案について、中間報告を行った。	○民間活用が小笠支所で実現可能か検討する必要がある。また支所機能を移転した場合の課題等を整理する必要がある。
実績(%)	協議の結果、窓口機能の存続は確認されたが、場所については再検討となった。	○現在まで協議されてきた小笠支所の課題と検討の経緯を踏まえ、小笠支所の在り方について平成26年度の目標達成ができるよう早期に進め、方針を確定する必要がある。
50	○12月、議会会派勉強会において、小笠支所のあり方についての検討状況を報告し、意見交換を行った。	
未達成	○12月25日まちづくり審議会で小笠支所のあり方についての検討状況を報告した。 ○2月18日に調整会議で、これまでの状況を報告し、平成26年度の日程等について協議した。	

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
8   新	<p>応急手当の実施により救命率を向上させることを目的に、応急手当指導者の育成など、市民が普通救命講習を受講しやすい環境づくりを図り、受講者数の増員を目指す。</p>	<p>平成27年度までの総受講者数6,300人 (従前値) H24まで4,910人</p>	消防本部	5,250人 (延べ受講者数)	5,750人 (延べ受講者数)	6,350人 (延べ受講者数)	<p>・応急手当協力事業所認定の制度等を通じ、事業所の受講者の増加を図る。 ・指導者の育成及び消防団員へ受講者の推進を図る。 ・一般市民への広報を実施、受講者の推進を図る。(出前講座など)</p>

取組概要	月 旬	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月																							
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																					
1 普通救命講習会の開催	計画							事業所									救急の日開催																																	一般公募普通救命講習会								
	実績																★																																									
2 応急手当協力事業所認定	計画	制定									案内通知						認定																																									
	実績																★																																									
3 応急手当指導員・普及員の養成	計画																																																									
	実績																																																									

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	<p>・平成25年度末までに普通救命講習会を47回開催し627人が受講し、年間目標の450人を達成、延べ受講者数が5,515人になった。 ・応急手当協力事業所認定要綱を5月に策定し10事業所に対し、救急の日(9月9日)に認定証を交付した。 ・6月に応急手当普及員として女性消防団員1名を任命し普通救命講習会に指導員として参加した。</p>	<p>事業所に伺い普通救命講習会の案内を行った結果、多くの受講者を募ることができた。今後も事業所に伺い、相手の顔が見える広報活動を実施していきたい。 来年度は、新庁舎施設での講習会が可能になるため、普通救命講習会の計画を見直し、多くの市民に受講していただく。</p>
実績(%)		
100		
達成		

B 簡素で効率的な行政の実現

◆ 新公共経営の推進

4 施設の運営形態の見直し

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
9 継	市内14箇所あるグラウンドなどの体育施設について指定管理者制度を導入する。また、導入については体育施設が設置されている公園全体を含めて検討する。	平成26年度方針決定	社会教育課 都市整備課	検討	方針決定	実施	庁内検討会(都市整備課・商工観光課・農林課・社会教育課)を組織し、方針(案)の検討を行なう。

取組概要	月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
1 現状・課題分析・方針(案)作成	計画																																		→		
	実績																																		→		
2 庁内検討会の開催(都市整備課、商工観光課、農林課、社会教育課)	計画				★									★						★										★							
	実績				★									★									★														
3 スポーツ推進審議会(諮問・建議)	計画			★									★																	★							
	実績			★										---	---	---	→	★																			
4 定例教育委員会	計画																			★														★			
	実績																																				
5	計画																																				
	実績																																				
6	計画																																				
	実績																																				

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	12月4日に第3回庁内検討会を開催し、市内14箇所あるグラウンドなどの体育施設について、公園部分も含めて指定管理者制度の導入(案)を決定した。	平成26年度中に契約、平成27年度から導入するため、条例改正や募集要項作成、協定内容の検討など各課と連携して進める。 また、すでに指定管理を導入している3体育館の実績から、モニタリング、評価を行う必要がある。
実績(%)		
100	指定管理者制度導入を進めるに当たって、 ・公募とするか非公募とするか、期間、対象施設について検討した結果 12施設を非公募で体協に5年間の指定管理とする方針を進めていくこととした。 ・指定管理者の組織についても体協で検討している。	
達成		

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
10   新 給食センターの運営形態の検討	学校教育の一環として責任を持って児童・生徒に提供している給食について、給食の内容の充実と効率的な運営を目的に、給食センターの運営形態を検討する。	平成26年度方針決定	教育総務課 (給食センター)	方針検討・決定 ※前倒し変更	実施準備 ※前倒し変更	実施	・委託内容の検討・比較項目の検討・他市の動向調査 ・運営委員会での検討・方針確認、教育委員会での検討・方針確認 ・行財政改革推進本部会での方針決定・議会への報告

取組概要	月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
1 給食センター運営委員会での検討及び方針確認	計画					★					★				★								★									★					
	実績						★					★					★								★												
2 教育委員会での検討・方針確認	計画				★											★								★									★				
	実績					★											★									★											
3 本部会(政策会議)への提案	計画																																		★		
	実績																																				
4	計画																																				
	実績																																				
5	計画																																				
	実績																																				

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	給食センター業務の一部民間委託について、学校給食運営委員会(4回開催)、定例教育委員会、市長会にて県内給食センターの委託状況及び市の考え方等を説明し、委託を実施する方針を決定した。	業者選定するための要綱や業務委託仕様書の作成を進める。また、今後の業者選定までのスケジュール等について、市長会、政策会議、全員協議会へ議題として提出し説明していく。
実績(%)		
95		
未達成		

B 簡素で効率的な行政の実現  
 ◆ 新公共経営の推進  
 4 施設の運営形態の見直し

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
11   新   デイサービスセンターの運営形態の検討	菊川市社会福祉協議会による指定管理を実施している2デイサービスセンターについて、公の施設として運営を継続するか検討する。	平成26年度方針決定	長寿介護課	検討	方針決定	実施	現在の指定管理者である社会福祉協議会との協議を行い、現状の検証・分析を行う。 また、関連部署や課内において、課題等の掘り起こしを進め、運営形態の計画案を作成する。

取組概要	月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
1 前年度を含む過去3年の事業報告の提出、事業実績の提出(社協→行政)	計画	→	→	→	→	→																															
	実績				→	→	→	→	→	→																											
2 事業実績の確認、現状実施状況確認	計画				→	→	→	→	→	→																											
	実績							→	→	→	→	→																									
3 現状実施状況と課題について聞き取り調査	計画									→	→	→	→	→	→	→																					
	実績											→	→	→	→	→	→																				
4 社会福祉協議会からの要望等の聞き取り、協議打ち合わせ	計画														→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		
	実績															→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		
5 運営形態の計画案作成	計画																										→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
	実績																											→	→	→	→	→	→	→	→	→	

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	社会福祉協議会が行っている事業について、これまでの経緯、現状と課題等のヒヤリングを行い、今後の方向性について意見交換を行ってきた。(6月、7月、8月、1月の4回実施)	平成27年度からの指定管理について決定した運営形態計画案に基づき、次期の指定管理選定に係る事務手続きを適正に進める。
実績(%)	社会福祉協議会との意見交換及び提出された計画案を参考に、今後のデイサービスセンターの管理・運営形態に関する市の方針原案を作成した。	
100		
達成		

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
12   新	新幼保園の運営を決定し、設置条例・規則を制定する。	幼保園の運営 H25方針決定、条例制定 H26幼保園運営開始 H27継続運営	幼児教育課	方針決定	供用開始	継続実施・検証 検討	先行事例を参考にしながら、公立園と連携協議し、運営方法を決定する。

取組概要	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月								
	旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下					
1 方針検討 運営検討委員会 (外部) ・3回開催予定	計画				★			★						★																												
	実績				★			★						★						提言																						
2 方針検討 検討会実務者会議 (内部) ・10回程度開催予定	計画	●				●			●			●			●		●				●			●			●			●			●			●			●			
	実績	★				★			★			★			★		★				★			★			★			★			★			★			★			
3 名称公募・選定 8月内定予定 9月公表予定	計画				→						★	◎																														
	実績				→						★	◎																														
4 条例・規則・要綱調整・ 制定 ・内部検討会での作業 ・3月議会上程予定	計画				-----									-----																												
	実績				-----									-----																												

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	<ul style="list-style-type: none"> <li>検討実務者会議 4回開催</li> <li>教育委員会及びアドバイザーとの連絡調整随時実施</li> <li>年間計画、指導計画、週計画、開園に向けての調整</li> <li>12月から2月に新入园児及び在園児保護者への説明</li> <li>H25.12 設置条例議決</li> <li>H26.2 建築本体工事完成 ・H26.2.14 内覧会(一般公開)</li> <li>H26.3 造成付帯工事完成 ・H26.3.28 落成式</li> <li>H26.4.1 開園 (4月園児数:保育部139名、幼稚部102名、計241名)</li> </ul>	※次年度(H26年度)上半期終了後に、公立幼稚園保育園運営検討委員会による開園後の運営状況についての検証を予定している。 ※また、開園後は各種園内会議等で問題点を適宜改善していくとともに保護者会からの意見を聴取し、運営に反映していく。 ※H26年度に策定予定の子ども子育て支援計画により、今後の幼稚園、保育園のあり方の見直しが見込まれる。それに伴い市立園についても将来の運営についての検討が必要となる。
実績(%)		
100		
達成		

B 簡素で効率的な行政の実現

◆ 新公共経営の推進

5 選択と集中のための評価の実施

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
13   新   補助金の見直しの実施	補助金見直し指針に則り、3年に1度の見直しを実施する。	補助金仕分けの実施	各課 企画政策課 財政課	準備	見直し実施	継続実施	第1次候補事業の抽出

取組概要	月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下					
1 仕分け対象補助金の抽出、選定	計画																																				
	実績																																				
2 対象補助金の実績報告の収集	計画																																				
	実績																																				
3 行革本部会へ仕分け対象補助金一覧表の報告	計画																																				
	実績																																				
4	計画																																				
	実績																																				
5	計画																																				
	実績																																				
6	計画																																				
	実績																																				

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	告示されている補助金及び通知により告示されていない補助金の補助要綱と本年度19節の予算細節全て、H23年度実施した見直し結果を突合し、見直し対象となる補助金の一次抽出を行った。 これに基づき、H26年度見直し対象となる各補助金のH23、H24の実績報告書を資料収集した。	2月開催予定の行財政改革推進本部会において、第1次抽出案について説明した。 また、補助金見直しの行財政改革推進懇話会をH26年8月に開催する予定で進めるため、H26年度当初から円滑に業務に入れるように準備を進める。
実績(%)		
100		
達成		

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
14   新	使用料・手数料見直し指針に則り、サービスコスト、受益者負担割合、利用者区分、減免対象範囲等について、3年に1度の見直しを実施する。	利用者負担の適正化を図る。	各課 企画政策課 財政課	継続実施	準備	見直し実施	現行料金の継続実施

取組概要		3月		2月		1月		12月		11月		10月		9月		8月		7月		6月		5月		4月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
1 現行料金の継続実施	計画																									→
	実績																									
2	計画																									
	実績																									
3	計画																									
	実績																									
4	計画																									
	実績																									
5	計画																									
	実績																									
6	計画																									
	実績																									

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	現行料金の継続実施をした。	使用料・手数料は、当初平成27年度の見直し実施を計画していたが、消費税10%が平成27年10月1日からとされているため、料金改正に伴う条例改正の作業期間も視野に入れ、平成26年度の後半から原価計算を含めた見直し実施に取りかかるため準備を進める。
実績(%)	消費税増税への対応については、平成25年9月17日に市の方針を市長会で確認し、「新たに原価計算は行わず、現行料金に対し105分の108を乗じて計算する」等を決定、国の動向に合わせ平成26年4月1日から本市の使用料等について消費税等相当分の引き上げを行った。	
100	関係課や総務課行政係と調整を進め、一括改正条例として2月議会へ議案提出をした。市民へは3月発行の4月お知らせ号及び市ホームページで周知を図った。	
達成		



B 簡素で効率的な行政の実現

◆ 新公共経営の推進

5 選択と集中のための評価の実施

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
15   新	民間委託基本方針の見直し	民間委託基本方針の見直しにより委託事業の再評価を行う。	各課 企画政策課 財政課	準備・実施	実施	実施	・対象事業の選定、評価シート様式の作成、評価基準の明確化 ・現課による自己評価の実施

取組概要		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
		旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中
1	民間委託基本方針改定案の作成	計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	指定管理者制度運用マニュアルと委託費評価シートの整合	計画								→															
	実績													→											
3	行革本学会へ議題として提出、基本方針の改訂、市民への公表	計画														★			公表★						
	実績																			★					
4	委託費の現状分析、評価を実施する委託事業の抽出	計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
5	評価シート様式の作成と各課への評価シート記入依頼	計画								→	作成	記入依頼													
	実績									→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
6	評価結果の取りまとめと次年度予算への反映周知	計画																							
	実績																								

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	委託費の見直し結果については、10月本部会に、問題提起という形になったが、報告した。このため、予算等に反映できる成果はなかった。	民間委託基本方針改定案を2/18開催の行革本部会で協議いただいた上で、確定し次第ホームページ等で公表する予定であったが、当該基本方針改定案の内容に修正が生じたため、年度内の確定が達成できなかった。次年度の早い時期に確定させ、ホームページ等を活用し、公表する。
実績(%)		
80	民間委託基本方針改正案を2/18開催された行革本部会で協議いただき、当該基本方針改正案の内容についてご意見をいただいた。	
未達成	本部委員よりいただいたご意見をもとに、当該基本方針改正案を再度修正し調整する必要があるが生じた。	

B 簡素で効率的な行政の実現

◆ 組織力の向上

6 人事管理の効率的な推進

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
16   新   時間外勤務の抑制	職員の心身の健康の維持、ワーク・ライフ・バランスの推進、経費の削減等を図るため、時間外勤務の抑制に努め活力ある職場環境を構築する。	職員一人当たり年平均時間外勤務時間数を100時間以下に抑制 (従前値) H24 99.59時間 (合計時間数 31,471.25時間)	総務課	職員一人当たり年平均時間外勤務時間数を100時間以下に抑制	前年度実績を下回る	前年度実績を下回る	時間外勤務の抑制に関する指針を策定し、全庁的に周知する。職員の意識改善を図り、計画的に業務遂行するよう指導・管理する。

取組概要	月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
1 指針の策定、職員への周知	計画			★																																	
	実績			★																																	
2 時間外勤務管理シート作成(計画時間の算出、見直し)	計画			★	→				★	→	→					★	→	→								★	→	→									
	実績			★	→				★	→	→					★	→	→									★	→	→								
3 時間外勤務管理シートでの実績管理	計画							★		★		★		★		★		★		★		★		★		★		★		★		★		★			
	実績							★		★		★		★		★		★		★		★		★		★		★		★		★		★			
4 管理職員への資料提供、指導	計画									★	→	→				★	→	→								★	→	→									
	実績									★	→	→				★	→	→								★	→	→									
5	計画																																				
	実績																																				
6	計画																																				
	実績																																				

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	議会定例会(補正)時期に時間外勤務の計画時間数を見直すこととしており、12月補正及び3月補正に合わせ、各所属における時間外勤務の計画時間の見直しを行い、年間必要見込時間等の状況把握を行い、補正予算への適確な反映を行った。	新たなルールでの時間外勤務の管理や管理職から終業時に退庁の呼びかけを行ったことにより、職員が効率的でメリハリのある事務処理に努めた結果、前年比で時間外の実績は大幅に減少した。今後も、「時間外勤務の抑制に関する指針」に基づく適正な管理の下に、勤務実態について所属長から聴き取るなど状況把握に努め、改めて課内における時間外勤務の平準化や適正な運用が図られるよう、指示・指導を行っていく。
実績(%)	また、各所属においては「時間外勤務管理シート」を活用し、所属内の時間外勤務時間数の実績管理を引き続き実施することで、職員個々の時間外勤務状況を把握し適確に指導することができた。	
100		
達成	算定対象時間外勤務時間数 30,534.25時間 … ① 算定対象職員数 376人 … ② 平均時間数 81.2時間 … ①/②	

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
17 継	行政運営の一層の効率化・合理化を進めるとともに、時代に即した機能的な組織体制の構築を進める。 第2次定員適正化計画に基づく定員の適正化に努め、重要施策や新たな行政課題に適切に対処するための適正な職員配置により市民サービスの向上を目指す。	(消防・病院を除く職員数) 平成27年度 308人(目標)  (従前値) H24 313人	総務課	継続実施	継続実施	継続実施	組織機構の見直しとともに、業務改善を進め業務の見直しを図る。また、研修等により人材の育成に努め、職員力を向上させる。

取組概要	月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
1 組織機構改革の実施	計画			→		★	政策会議									★	政策会議					→															
	実績			→		★	政策会議									★	政策会議																		★	政策会議	
2 業務改善等制度を活用した業務改善の取組み	計画																																				
	実績																																				
3 非常勤職員等の活用	計画																																				
	実績																																				
4 職員研修による人材育成	計画																																				
	実績																																				
5 職員の新規採用等人事管理	計画																																				
	実績																																				
6	計画																																				
	実績																																				

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	組織機構改革について、10月15日開催の政策会議に平成26年度組織機構案を説明・報告した。	簡素で効率的な行政を目指す中で、県からの権限移譲や平成28年1月に開始となる番号制度の業務が増大するなど、行政を取り巻く環境が年々厳しい状況に向かっている。 H27組織機構に合わせH27当初予算を編成し、議会や市民への説明・周知を適切に行うとともに、効果的な組織となるよう実践していく。 非常勤職員等の配置について、現場の状況を見極め、適正に配置していく。 職員研修について、3市広域研修計画に基づき、職員研修を引き続き行っていく。また、H26末に退職する職員を補充するため、新規採用職員選考試験を実施し、人材の確保を進める。
実績(%)	業務改善等制度において、職員提案による取り組みとして進めている、①庁内会議における所要時間、目的等の明確化、②終礼の実施、について引き続き実施した。	
100	年度途中において、職員等の欠員が生じた部署など非常勤職員等を必要とする部署には、個々の状況に合わせ非常勤職員等を適確に配置した。	
達成	職員力の向上により組織力をさらに高めるため、3市広域研修、外部研修などの職員研修を実施した。 25年度末退職者を把握し、必要とする職種・人員を確保するため職員採用選考追加試験を実施した。 H25.4.1現在職員数314人の目標に対し、312人となった。	

B 簡素で効率的な行政の実現

◆ 組織力の向上

7 職員力を高める環境整備と職場風土の醸成

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
18 継	年齢・経験年数・職階に応じた中長期的な研修計画に基づき、求められる政策法務能力や政策形成能力などの向上に向けた職員研修を継続的に実施し、職員の能力を高める。併せて、職場内におけるOJTを活性化させることで、研修により習得した「能力」を「職員力」へ変えていく。	研修参加職員数(各年)300人 (従前値) H24 174人	総務課	継続実施	継続実施	継続実施	・自主選択制度(セルフ・セレクション)による研修の推進 ・「職員アンケート(仮)」について調査・検討

取組概要	月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
1 3市広域研修計画に基づく研修の実施	計画	★	→		★																																
	実績	★	→		★																																
2 3市広域研修の充実	計画				★																																
	実績				★																																
3 外部研修への派遣	計画	★	→		★			★			★			★																							
	実績	★	→		★	★	★			★																											
4 職場委託研修の開催	計画													★																							
	実績													★																							
5 職場状態に応じた配慮の行き届いた研修	計画	★	→	★	★																																
	実績	★	→	★	★																																

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	3市広域研修計画に基づく各研修に対し、基礎研修(指名)に148人、選択研修(選択)に199人、計347人の職員を派遣した。	職員全体の自己成長意欲の向上を目的として、平成24年度より「自主選択制度」を導入した。これにより申込者数251人(前年対比34人増)と増加し、一定の成果が得られた。しかし、人気のある研修(静岡県主催の複数の研修)への申込みが集中し、受講者数の減員調整した。平成26年度については、H26.3月に実施した「研修職員アンケート」結果を踏まえ、研修参加者募集通知において自らに必要な能力と選択する研修の必要性を意識させるとともに、3市広域研修をはじめ研修項目を改めて職員に周知するなど、職員の効果的な受講が行われるよう推進していく。
実績(%)	「研修の見直し」	
100	3市広域研修については、計画のとおり全17研修(21日)を実施し、各研修カリキュラムが狙いに沿ったものになっているかどうかの確認(採点)を行った。10月には、これを基に3市間で協議を行い、「H25 3市広域研修の評価及び次年度実施に向けた改善等の方針」を作成し、方針に基づきカリキュラム内容の改良、講師変更、開催時期の調整を行い、H26 3市広域研修計画を策定した。	
達成	ほか、3市広域以外の外部派遣研修についても、計画通り職員を派遣するとともに、静岡県及び静岡縣市町村振興協会が実施する研修に対し、研修内容の改善要望を行った。	

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
19 継  現場からの業務改善の推進と職員提案制度の改善	職員研修等により習得した資質・能力を発揮する機会として、業務改善や職員提案を一層奨励する。現場の発想を活かした業務改善制度を推進し、経費や時間の削減、市民サービスの向上を図るとともに、職員提案制度を充実させ、優れた提案の施策等へ反映させる	業務改善・職員提案数 1課1係1人1件以上  (従前値) H24 526件	企画政策課	提案制度の改善の検討・実施	継続実施	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進月間の実施、管理職への啓発</li> <li>・表彰や審査方法の見直しを検討・実施</li> <li>・取組内容の検証、政策提案(研修成果)の運用方法を検討</li> <li>・優秀事例発表会の研究</li> </ul>

取組概要	月 旬	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
1 推進月間の実施、管理職への啓発、取組内容の検証、	計画			啓発						啓発																										検証	
	実績			啓発																																検証	
2 表彰や審査方法の見直しを検討・実施	計画																																				
	実績																																				
3 政策提案(職員研修)の運用方法を検討	計画																																			検証	
	実績																																			検証	
4 優秀事例発表会の研究	計画																																			時間外	
	実績																																			時間外	
5	計画																																				
	実績																																				

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	業務改善・職員提案提出件数が、目標の517件に対して647件(1人当たり1.68件)の提出をいただいた。	平成27年度の優秀事例発表会実施に向けて、準備作業を進める。また、本年度表彰となった事例について、壁新聞等を活用して職員へ取組みを紹介し、更なる水平展開や改善へのヒントをつかんでもらう。
実績(%)	5月職員提案で今後対応とした22件の進捗状況をまとめ、その内5件は全庁的な取り組みや各課において業務改善につなげた。	
100	また、提案テーマに掲げた時間外の削減についても、前年度比▲15.5%とした。	
達成	業務改善審査方法については、実施グループ責任者(課長級)や所属部長から選定していただく仕組みを構築した。	

B 簡素で効率的な行政の実現  
 ◆ 安定した財政基盤の構築  
 8 市税等の収納率の向上

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
20 継	市税の収入率の向上	(個人市民税:現年分+過年度) H25 90.80%以上 H26 91.00%以上 H27 91.00%以上 (H24 90.39%) (固定資産税:現年分+過年度) H25 95.30%以上 H26 95.30%以上 H27 95.30%以上 (H24 95.35%) (軽自動車税:現年分+過年度) H25 93.00%以上 H26 93.00%以上 H27 93.00%以上 (H24 93.20%)	税務課	継続実施	継続実施	継続実施	・口座振替推進⇒納税通知発送時依頼書同封、窓口来庁者へ新規登録勧奨 ・初期滞納者対策⇒催告書の発送、滞納整理、電話催告、納税相談 ・執行停止者の抽出(出国者、相続者なし死亡者、財産無者、生活困窮者、行方不明者等)⇒実態・生活(面談)・財産・給与調査等の実施 ・差押⇒行方不明者・出国者、納付約束不履行者、納税意識のない者

取組概要		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		
		旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1 再催告書一斉発送(H24年度)電話・来庁対応	計画		→																							
	実績		→																							
2 再催告者への財産調査、差押	計画			→	→	→																				
	実績			→	→	→																				
3 催告書一斉発送H25年度1期のみ	計画							→	→																	
	実績							→	→																	
4 担当課(税務課・市民課国保年金係)による滞納整理	計画									→	→															
	実績									→	→															
5 納付約束不履行者に対する差押処分	計画											→	→													
	実績											→	→													
6 催告書一斉発送・電話・来庁対応(H25.1~2期分)	計画															→	→									
	実績															→	→									
7 職員一斉による滞納整理	計画																	→	→							
	実績																	→	→							
8 納付約束不履行者に対する監視(差押処分まで)	計画																				→	→	→	→	→	→
	実績																				→	→	→	→	→	→
9 催告状一斉発送	計画																									
	実績																									
10 滞納整理機構への移管	計画																									
	実績																									
11 48条による移管	計画																									
	実績																									
12 催告書発送、財産調査差押搜索実施(随時)	計画																									
	実績																									
13 納税通知者への口座依頼封入による推奨	計画				★		★																			
	実績				★		★																			

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課職員による市内小学生対象「租税教室」の開催(12～1月)。税務課職員が講師となり、小学6年生を対象に4校6クラスで「租税教室」を開催し、税に関する意識を高めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市県民税の収入率は、個人住民税の特別徴収の推進により納付期限が変更となり、4月末にならないとH25の実績が確定しないため、3月末現在では目標値を下回っていたが、4月末の収入では目標値を上回り達成した。</li> </ul>
実績(%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方税法第48条により県(磐田財務事務所)へ14名分の徴収事務委託(9月～1月)。</li> </ul>	
100	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報きくがわ11月お知らせ号とホームページに“納期内納付協力のお願い”と“11月～12月滞納整理強化”を掲載。</li> <li>・現年度のみの滞納者(H25年5月～9月末納期未納者)に催告書一斉発送(11月、対象者690名)。</li> </ul>	
達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月に発送した現年度分催告書に反応のない滞納者に対して、本庁全職員による臨宅滞納整理を実施(12/4～12/20、訪問者210人)。</li> <li>・静岡地方税滞納整理機構よりH25年度移管分の実績 ⇒ H25年6月～12月収入実績5,016,489円。</li> <li>・磐田財務事務所より第48条の個人市県民税の実績 ⇒ H25年9～12月収入実績2,108,704円。</li> <li>・過年度滞納者については、催告書発送、差押えによる滞納処分、分割納付者に対する納税監視、執行停止、交付要求等を実施(通年)。</li> <li>・H25現年度のみの滞納者(H25年5月～H25年12月末納期、未納者)で、12月に実施した職員一斉滞納整理に反応の無かった者に催告書一斉発送(1月:274名)。</li> <li>・軽自動車税過年末納者に一斉催告(1月:85名)。</li> <li>・分納約束不履行者に一斉催告(1月:54名)。</li> <li>・H25現年度のみの滞納者(H25年5月～H26年1月末納期未納者)に催告書一斉発送(3月:対象者930名)。</li> </ul> <p>・4月～3月実績⇒差押185件(普通預金142件、定期預金4件、生命保険28件、不動産3件、出資金1件、動産7件)。差押取立165件13,538,829円、執行停止880件(うち即時欠損113件)、交付要求28件、交付要求配当5件2,189,100円、搜索3件。</p> <p>・外部委託徴収額⇒(静岡県滞納整理機構、磐田財務事務所)7,506,882円</p> <p>【収入率(4月末現在)】集中改革プラン(H24の収入率) (現年分+過年度)合計 94.51% (93.89%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民税 91.93% (90.39%)</li> <li>・法人市民税 99.57% (99.52%)</li> <li>・固定資産税 95.53% (95.35%)</li> <li>・軽自動車税 93.62% (93.20%)</li> </ul>	

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
21 継	口座振替納税の推奨や現年滞納者への電話催告などを実施する。また、短期被保険者証の交付及び資格証明書の発行など実施する。	収納率 H25 現年分94.30% 滞繰分16.20% H26 現年分94.30% 滞繰分16.20% H27 現年分94.30% 滞繰分16.20% 従前値 H24 現年分94.20% 滞繰分15.81%	税務課 市民課	継続実施	継続実施	継続実施	引続き税務課と市民課連携による国保税収納の取組みを行う。短期被保険者証の発行をはじめ催告等、滞納者との接触機会を増やし納付を促す。取組内容を検証し収納率を確認する

取組概要	月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
1 税務課・市民課共同による電話催告(①)、滞納整理(②)、職員一斉滞納整理(③)	計画				①									②	→											③	→										
	実績			①										②	→											③	→										
2 納付約束不履行者に対する滞納処分	計画				→	→	→	→																					→	→	→	→	→	→			
	実績				→	→	→	→																					→	→	→	→	→	→			
3 催告書一斉発送	計画										→															→											
	実績							→						→												→											
4 保険証更新時に一斉来庁要請	計画																→																				
	実績																→																				
5 資格証明書(①)、短期被保険者証(②)交付時における催告・相談等	計画							②	→								①	②	→							①	→					①	→				
	実績							②	→								①	②	→							②	→					②	→				
6 居所不明者の調査・資格職権削除	計画																			→	→	→															
	実績										→									→																	



目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	(1) ・11月発送の現年度分催告書に反応のない滞納者に対して、本庁全職員による臨宅滞納整理を実施(12/4～12/20、全訪問者210人)…市税全て	(5) ・短期被保険者証の更新及び納付約束不履行者への来庁要請を実施し、納付を促す。
実績(%)	(2) ・現年度のみ滞納者(H25.5～9月末未納者)に催告書一斉発送(11月、対象者684人)…市税全て	(その他)
99.9	・過年度滞納者については、催告書発送、差押えによる滞納処分、分割納付者に対する納税監視、執行停止、交付要求等を実施(随時) ・H25年度分新規滞納者に対する催告書の一斉発送。(3月、対象者930名)…市税全て	・時効欠損対象者・中断者の把握。 ・口座振替の推進を図る。 ・滞納整理システムを有効活用した円滑なシステムの構築
未達成	(3) ・9月末有効期限の短期被保険者証交付者に対し、納付依頼をするとともに、短期被保険者証の更新(389世帯)を行った。 ・9月末短期被保険者証交付者で納付約束不履行者11世帯に呼出通知を発送し、来庁要請と納付相談を行い納付を促した。 ・6月呼出対象者のうち、納税相談不履行者(22世帯)に対し資格証明書を交付。 ・12月末有効期限の短期被保険者証交付者に対し、納付依頼をするとともに、短期被保険者証の更新(328世帯)を行った。 ・12月末短期被保険者証交付者で納付約束不履行者8世帯に呼出通知を発送し、来庁要請と納付相談を行い納付を促した。 ・9月呼出対象者のうち、納税相談不履行者(4世帯)に対し資格証明書を交付。 ・3月末有効期限の短期被保険者証交付者に対し、納付依頼をするとともに、短期被保険者証の更新(295世帯)を行った。 ・12月呼出対象者のうち、納税相談不履行者(2世帯)に対し資格証明書を交付。 (6) ・11月下旬、居所不明者の調査を税務課と実施した。(14世帯) (その他) ・3月末における現年度分の収納状況⇒国保税 1,188,758,090円で収納率93.90% ・静岡滞納整理機構よりH25年度移管分実績⇒H26年1月～3月分収入実績949,969円(累計)のうち国保税 759,079円 ・3月末における過年度分の収納実績⇒国保税 48,886,458円で収納率17.04% ・市民課窓口へ給付申請に来た滞納世帯に対し納付相談を実施し、21件、560,336円(1～3月)を国保税に充当させた。(年間の国保税への充当件数・金額は39件・1,245,585円) 5月末 ・現年分 1,192,504,842円(94.2%) ・過年度分48,886,458円(17.04%)	

B 簡素で効率的な行政の実現  
 ◆ 安定した財政基盤の構築  
 8 市税等の収納率の向上

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
22 継	誓約書による意識付け、電話による定期的な督促、分納や児童手当の充当など、 確実な収納管理を行なう。	保育料収納率 H25 現年分99.20% 滞繰分15.70% H26 現年分99.20% 滞繰分16.00% H27 現年分99.20% 滞繰分17.00% [従前値 H24 現年分99.2% 滞繰分 7.4%]	こどもみらい課	継続実施	継続実施	継続実施	個別相談の実施、電話督促、集中期間の通知、督促、滞納マニュアルの作成
保育料等の収納率向上							

取組概要		4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
1 保育園運営者との連絡調整	計画	★					★																														
	実績	★																		★																	
2 個別相談	計画	→																																			
	実績	→																																			
3 電話督促	計画	→																																			
	実績	→																																			
4 【集中期間】通知・督促	計画				→																																
	実績				→																																
5 滞納マニュアル作成	計画	→																																			
	実績																																				

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	H25.10 保育園長へ保育料収納についての協力依頼 H25.11 戸別訪問(現年度)2件 催告書(現年・過年度)14件	H25の数値目標は達成した。 なお、H25の実績値が現行のH26、27の目標値以上の成果であったため、H26以降の目標値の上方修正を検討する。
実績(%)	H25.12 差押えに向けて預金調査1件 滞納マニュアル完成	
100	※督促通知については、7月以降毎月発送に変更。 H26.2 児童手当からの直接収納を実施	
達成	H26.5.14現在の収納状況 現年度分 99.37% 過年度分 23.67%	

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)																														
				H25	H26	H27																															
23 継	<p>未納者については、学校から直接働きかけ徴収するとともに、給食センターと連携を取り合いながら面談し、完全納付に向けた取り組みを実施する。</p>	<p>収納率 H25 現年分99.91% H26 現年分99.91% H27 現年分99.91%  (従前値) H24 現年分99.80%</p>	<p>教育総務課 (給食センター)</p>	継続実施	継続実施	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校との情報共有</li> <li>・電話連絡及び督促状の郵送</li> <li>・未納者への訪問</li> </ul>																														
給食費の収納率の向上				継続実施	継続実施	継続実施																															
取組概要	月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1 小中学校、幼稚園と前年度までの未納状況確認及び相談(家庭状況確認)	計画	●	→									●	→																								
	実績				●	→						●	→												●	→											
2 前年度までの未納者への督促通知発送	計画				★					★											★																
	実績									★																											
3 未納者への訪問	計画					★					★											★															
	実績																					★															
4 当該年度の未納状況確認及び相談	計画												★																								
	実績																																				
5 未納者の情報共有のための給食担当者への連絡	計画	●	→																																		
	実績	●	→																																		
6	計画																																				
	実績																																				

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	学校、中学校との連携により過年度分の滞納者から、平成23年度分2名から52,929の納入があり対象者が4名から2名となりました。平成24年度分5名から154,933円の一部入金があり合計で207,862円(34.7%)の未納金が回収できた。平成24年度分の一部入金者については、分納での対処をしているので、今後も継続的な入金がされると考える。また、こどもみらい課との連携で、現年分給食費の1家族3名分40,500円が2月の手当支給時に回収できることとなった。現在の作業としては現年度分の未納者リストを作成し、関係機関と調整しながら就学援助費からの収納も実施している。	滞納者自身が給食費以外の校納金などを納めていない状況が見受けられる。また、本人の意識の低さ等により徴収の話し合いがスムーズに進まないケースが多々あるが、今後も学校など関係機関との連絡を密にし収納率の向上に努めていく。
実績(%)		
99.9		また、給食費を児童手当から回収できるよう関係課と連携を図っていく。
未達成	小中学校・幼稚園等の関係機関と前年度までの給食費未納状況の確認及び相談を実施、家庭訪問、督促状の送付等も行った。 現年分度分については、3月31日現在、調定額が225,448,220円に対し、収入額が225,011,419円、収納率は99.81%となっており、目標の99.91%には達していない状況であるが、4月以降の入金も見込まれるため5月末には目標である収納率99.91%の達成が見込まれる。 5月末収入額225,117,242円(99.85%)	

B 簡素で効率的な行政の実現

◆ 安定した財政基盤の構築

8 市税等の収納率の向上

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
24 継 上下水道料の収納率の向上	平成20年4月から上下水道料金の賦課・徴収業務を民間事業者に委託している。 平成25年度からの委託更新に合わせ更なる収納率の向上を目指す。	現年分収納率 上水道98.00% 下水道98.32%  〔従前値〕 H24 上水道97.9% 下水道98.3%	水道課 下水道課	継続実施	継続実施	継続実施	・給水停止措置の実施及び実施要件の見直し ・税務課との連携強化 ・口座振替登録者数の増加(新規加入使用者への推進)

取組概要	月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
1 給水停止措置の実施	計画																																				
	実績																																				
2 給水停止措置の実施要件の見直し検討	計画																																				
	実績												◎	→	★	→																					
3 口座振替登録者の増加の推進	計画																																				
	実績												◎★	→																							
4	計画																																				
	実績																																				
5	計画																																				
	実績																																				
6	計画																																				
	実績																																				

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	1 給水停止措置を継続的に実施した。 2 給水停止措置の実施要件の見直しとして、8月中旬から納付依頼から給水停止までの期間を1ヶ月短縮する試験運用を開始し、継続実施した。 3 口座振替登録者増加のため、7月及び8月の検針時に、検針票のスペースに口座振替の案内を掲示し、口座振替の強化に努めた。	更なる収納率向上のため、給水停止措置の期間短縮運用の継続やコンビニ収納代行業務の運用開始に向け準備を行う。
実績(%)		
100		
達成	現年度上水道の収納率は3月末現在98.65%で前年度比0.72ポイント上昇した。 現年度下水道の収納率は3月末現在98.48%で前年度比0.16ポイント上昇した。	

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
25   継	<p>現年度分・滞繰分の未納者宅を訪問し、滞納整理を行う。介護保険制度について、周知を図る。</p> <p>【数値目標】 特別徴収分・・・100% 普通徴収分・・・「数値目標等」のとおり</p>	<p>収納率(普通徴収) H25 現年分88.13% 滞繰分16.52% H26 現年分88.17% 滞繰分16.54% H27 現年分88.20% 滞繰分16.56%</p> <p>〔従前値 H24 現年分88.1% 滞繰分16.5%〕</p>	長寿介護課	継続実施	継続実施	継続実施	<p>・現年分・滞納繰越分の未納者宅を訪問し、滞納整理を行う中で、給付指導及び相談を実施する。 ・介護保険事業の趣旨の普及に努め周知を図る。</p>

取組概要	月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
1 年度切り替えによる不能欠損処理	計画	→	→	→	→	→	→	→	→																												
	実績	→	→	→	→	→	→	→	→																												
2 未納状況確認	計画				→	→				→	→					→	→					→	→										→	→			
	実績				→	→				→	→					→	→					→	→										→	→			
3 催告	計画				→	→				→	→					→	→					→	→										→	→			
	実績				→	→				→	→					→	→					→	→										→	→			
4 臨宅による滞納整理の実施	計画															→	→					→	→									→	→				
	実績																→	→				→	→									→	→				
5 特別督促の実施	計画																					→	→										→	→			
	実績																																	→	→		
6	計画																																				
	実績																																				

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	課職員により、臨宅の滞納整理を実施した。	引き続き、納期ごとの収納状況と未納への対応(督促)を実施する。 あらゆる手法による滞納整理を実施し、収納率の向上を目指す。
実績(%)	納期限までの納付が確認できない者への督促を各納期の翌月に実施した。	
99.3	時効前通知による納付の催告を行った。 分納計画についての相談等を行った。 臨宅の滞納整理において、面会できなかった者への催告を行った。	
未達成	収納率 H26.5末現在 普通徴収現年度分 88.31% 普通徴収対応繰越分 11.99%	

B 簡素で効率的な行政の実現  
 ◆ 安定した財政基盤の構築  
 8 市税等の収納率の向上

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
26 継	病院の未収金対策の実施	各年度ごとの医療収益に対する最終的な未収金比率を0.025%以内とする。 (従前値) H23 0.26%	菊川病院	継続実施	継続実施	継続実施	・クレジット払いの運用開始 ・交通事故患者の対応マニュアル作成

取組概要	月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
1 外来未収金額(月次)及び前年度比の確認	計画	確認			確認			確認			確認			確認			確認			確認			確認			確認			確認			確認			確認		
	実績	★			★			★			★			★			★			★			★			★			★			★			★		
2 上記調査結果に基づく対応(分析・請求・督促など)	計画	対応			対応			対応			対応			対応			対応			対応			対応			対応			対応			対応			対応		
	実績	★			★			★			★			★			★			★			★			★			★			★			★		
3 交通事故対応マニュアル作成	計画				←																																
	実績																																				
4 クレジット払いの導入 ・法的問題など整理 ・担当課との調整	計画		←																																		
	実績																																				
		<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">★ 税務課、出納室、総務行政との調整</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">◎ 会計規則の改定作業</div> </div>																																			
5 クレジット払いの導入 ・導入手続き	計画																																				
	実績																																				
6 クレジット払いの導入 ・運用調整	計画																																				
	実績																																				

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	当初計画では、各年度の未収金比率を0.1%以内と設定していたものを過去の取り組み効果から判断し、目標を0.025%以内に上方修正した。	メディカルクレジット導入のため、市の担当部署と調整しながら病院会計規則の変更手続きに取り組んだが、調整期間が長引いた影響もあり、公営企業法の改定の時期と重複した関係もあり、最終的な規則の改定には至っていない。 現在、公営企業法の改定にからむ部分の変更も含めて、メディカルクレジット導入部分の規則見直し手続きを進めている。
実績(%)	高額自費分である交通事故治療費の早期回収を重点的に対応した結果、その他一般治療費分の回収にも波及効果があったものと思われる。	
100	結果として直近の24年度分については、目標を上回る0.022%(金額ベースで100万円を切る)までに縮減できた事は過去最高であり、今後も継続的な取り組みによる効果を図っていく。	
達成		

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
27 継	市営住宅使用料の収納率の向上	現年度分・滞繰分の未納者宅を訪問し、滞繰整理を行う。	都市政策課	継続実施	継続実施	継続実施	納付状況を常に把握し、滞繰が増える前に滞繰整理を行う(電話・訪問により)
収納率 H25 現年分98.90% 滞繰分18.00% H26 現年分98.90% 滞繰分18.00% H27 現年分98.90% 滞繰分18.00% [ H24 現年分98.9% 滞繰分 7.3% ]							

取組概要	月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
1 20日頃に納付がない者に督促を発送(滞繰分含む)	計画																																				
	実績		*				*				*				*			*			*			*			*			*			*			*	
2 2ヶ月に一度現状を確認し、電話連絡(滞繰分含む)	計画																																				
	実績		*				*				*				*			*			*			*			*			*			*			*	
3 3ヶ月に一度現状を確認し、必要に応じて訪問(滞繰分含む)	計画																																				
	実績						*														*						*					*			*		
4 訪問後、必要に応じて他課との連携(現年分含む)	計画																																				
	実績																									*			*								
5 必要に応じて保証人へ通知・連絡(滞繰分含む)	計画																																				
	実績												*			*															*			*		*	
6 状況により、誓約書及び分納計画書の提出をさせる(現年分含む)	計画																																				
	実績																					*		*		*		*		*		*		*		*	

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	収納率 現年分 97.92%(4月末) 過年度分 9.94%(3月末)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に滞繰者の現状は把握し、必要に応じて、分納計画書を提出させたり、保証人へ連絡をする。</li> <li>・分納計画書を提出させたら、計画通りに支払っているか確認し、遅れているようなら連絡をする。</li> <li>・電話連絡をして、少しでも滞繰を減らしていく。</li> <li>・現状を把握し、他課とも連携をとっていく。</li> <li>・新規に滞繰が発生した場合は納入通知書に滞繰について記載した通知を同封する(滞繰額が少ないうちに滞繰を無くす)。</li> </ul>
実績(%)	①毎月20日頃督促状を発送。 ②3ヶ月以上の滞繰者(A)は不在の時もあるが毎月電話し、現状確認もしている。	
99	③3ヶ月以上の滞繰者(B)は分納計画を提出し、それに沿って遅延なく1万円ずつ支払っている。 ④3ヶ月以上の滞繰者(C)は滞繰ありで退去したが、分納計画に沿って支払っている。 ⑤その他、複数名については電話催告をした。 ⑥3ヶ月以上の滞繰者(E)は3月末日退去だが、滞繰分は必ず支払う約束をした。	
未達成		



B 簡素で効率的な行政の実現  
 ◆ 安定した財政基盤の構築  
 9 財政力の向上

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
28 継	①実質公債費比率の健全化 ②将来負担比率の健全化	①14.0%未満 (H26年度決算) ②110%未満 (H26年度決算)  (従前値) H23 ①16.5% ②94.4%	財政課	継続実施	継続実施	継続実施	・市債発行額の抑制 ・市債以外の将来負担事業の精査  (市債借入れ及び債務負担行為の設定による将来負担増加額を3億円以内に抑制する。)
実質公債費比率及び将来負担比率の適正化							

取組概要	月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
1 6月補正予算編成 市債・債務負担行為 等予算額の調整	計画		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	実績		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 9月補正予算編成 市債・債務負担行為 等予算額の調整	計画																																				
	実績																																				
3 12月補正予算編成 市債・債務負担行為 等予算額の調整	計画																																				
	実績																																				
4 3月補正予算編成 市債・債務負担行為 等予算額の調整	計画																																				
	実績																																				
5 翌年度当初予算編成 市債・財政調整基金 等予算額の調整	計画																																				
	実績																																				
6	計画																																				
	実績																																				

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)				課題と今後の取組み(A)					
100	1 市債				単位:千円					
実績(%)	項目	当初	補正5号まで	合計	決算額					
	市債(現年度分)	計上額	▲ 2,213,700	318,000	▲ 1,895,700	▲ 1,820,700				
	市債(H24からの繰越分)	計上額	▲ 232,200	0	▲ 232,200	▲ 223,400				
100	市債(H26への繰越分)	計上額		26,300	26,300	23,200				
	市債	元金償還額	1,832,012	2,988	1,835,000	1,834,191				
達成	小計		▲ 613,888	347,288	▲ 266,600	▲ 186,709				
	2 債務負担行為の設定(実質公債費比率・将来負担比率に影響するもの)									
	項目	当初	補正5号まで	合計	決算額					
	双葉保育園園舎改築元金補給			▲ 198,828	▲ 198,828	▲ 198,828				
	債務負担行為の償還		261,433		261,433	261,433				
	小計		261,433	▲ 198,828	62,605	62,605				
合計(市債+債務負担行為+将来負担)		▲ 352,455	148,460	▲ 203,995	▲ 124,104					
<p>本年度は、もともと合併特例事業に係る借入額の大きい年度であり、目標達成が困難な年度であったが、2億円近い双葉保育園園舎改築に係る債務負担行為の追加を行ったため、次年度以降における実質公債費比率・将来負担比率の上昇要因が増えることとなった。また、補正財源をまちづくり基金へ積立てることとし、臨時財政対策債の借入額を据え置いたため、実質公債費比率の上昇に影響を与えることとなった。(ただし、基金へ積立てのため、将来負担比率への影響はない。)</p> <p>しかし、単年度目標である将来負担減少額3億円以内に抑制することに対しては、当初予定していた事業の延伸、決算における借入額の確定や次年度への繰越額により市債発行額が減少し目標を達成している。</p> <p>次年度以降においても、一般財源の不足を補う臨時財政対策債借入額を抑制するとともに、建設事業予算・債務負担行為の精査を行い、実質公債費比率・将来負担比率の抑制を図っていく。</p>										

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
29 継				積立金と借入金の差額の黒字化	積立金と借入金の差額の黒字化	積立金と借入金の差額の黒字化	・市債の総額抑制。 ・財政調整基金の維持 まちづくり基金への積立
積立金と借入金の差額の黒字化	毎年度、現金資産及び負債の差額の黒字化を目指す。	積立金残高及び長期債残高 H25黒字化 H26黒字化 H27黒字化  (従前値) H24 黒字化 +183,813千円	財政課				

取組概要	月 旬	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
1 6月補正予算編成 市債・財政調整基金 予算額の調整	計画																																				
	実績		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
2 9月補正予算編成 市債・財政調整基金 等予算額の調整	計画																																				
	実績																																				
3 12月補正予算編成 市債・財政調整基金 等予算額の調整	計画																																				
	実績																																				
4 3月補正予算編成 市債・財政調整基金 等予算額の調整	計画																																				
	実績																																				
5 H24決算による財政調整 基金への積立	計画																																				
	実績																																				
6	計画																																				
	実績																																				

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	決算額(①+②) 決算時差額 +200,967千円(実質差額+31,001千円)	基金決算額では、補正第4号において、次年度事業へ充当する地域の元気臨時交付金130,000千円を積立て、補正第5号において、南部第二区画整理組合からの寄附金39,966千円を将来の加茂地区で行う事業の充当財源として財政調整基金へ積立てたが、次年度以降において取り崩すものであるため、実質基金差額は+217,710千円となっている。 市債決算額においては、次年度繰越額26,300千円を控除し▲186,709千円となった。 今年度決算における差額は+200,967千円であり、次年度以降の充当財源として基金に積立てた額を控除した場合の実質差額でも+31,001千円となり達成している。 H26においても、補正財源の活用や事業費の節減などを通じて、財政調整基金繰入額の減や、まちづくり基金の積立、市債借入額の抑制を図っていく。
実績(%)	①基金決算差額 +387,676千円 (H24決算繰越・地域の元気臨時交付金・南部第二寄附を含む) ※実質決算差額 +217,710千円 (H24決算繰越のみの場合)	
100	・積立額 +792,449千円(実質積立額622,483千円) ・取崩額 ▲404,773千円(実質取崩額▲404,773千円)	
達成	②市債差額 ▲186,709千円 (H24→H25繰越含む・H25→H26繰越含まない)	

B 簡素で効率的な行政の実現

◆ 安定した財政基盤の構築

9 財政力の向上

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
30   新	多くの公共施設は建設後一定の年数を経過し、今後更新が必要となる時期が集中することが予想される。損傷の軽微なうちに補修し、長持ちさせる予防型の維持管理を行い、公共施設の長寿命化と予算の平準化を図る。	平成27年度実施	財政課	検討・準備	計画策定	実施	・公有建物有効利用検討委員会(仮称)の開催
公共施設の長寿命化計画の策定							

取組概要	月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
1 公有地有効利用検討委員会建物部会の任命	計画		●																																		
	実績													●																							
2 将来方針検討対象建物リスト及び検討基礎資料作成	計画																																				
	実績																																				
3 委員による将来方針の検討及び検討結果とりまとめ	計画																																				
	実績																																				
4 将来方針の取りまとめ結果に基づく、検討委員会の開催及び委員会検討結果による方針修正	計画																																				
	実績																																				
5 (暫定版)将来方針の内部決裁	計画																																				
	実績																																				
6 将来方針に基づいた保全計画策定のための予算要求、資料収集及び検討資料作成	計画																																				
	実績																																				

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	9/4・11/5に検討会を開催し、長寿命化計画対象の52施設を決定した。なお、52施設には教育施設やH26年度以降長寿命化計画を作成しなければならない施設は対象外とした。また、公共建物リストを基に、存続や廃止の方向性や、過去の維持管理費、今後発生する修繕工事などをまとめた建物台帳と減価償却表を作成した。 3月中旬に各所管課とヒアリングを実施。各施設の耐久度・性能・必要度・利用度から、現状の区分として9分類にした。	財政的負担の軽減と計画的な保全体制を確立し、財政的支出を平準化するために、平成26.27年度の2カ年で、市公共施設等総合管理計画を策定する。 平成26年度:現状施設の調査(目視点検等を実施し、詳細な建物台帳を作成)。平成27年度:H26の台帳を基に、個別補修計画の作成、建替・修繕比較、事業費平準化作業を行う。 平成26年度前倒しでの計画策定であったが、施設数、調査分析にかかる調査時間などを考慮し2カ年計画とする。
実績(%)		
100		
達成		

B 簡素で効率的な行政の実現  
 ◆ 安定した財政基盤の構築  
 10 公営企業会計の健全化

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
31   新	公営企業会計(水道)の経営健全化	<p>菊川市水道事業中期経営計画の推進(経常利益額30,000千円を上回る)</p> <p>(従前値) H24 29,374千円</p>	水道課	経常利益額30,000千円	経常利益額30,000千円	経常利益額30,000千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>給水収益の増加(上水道:年分収納率98.00%)</li> <li>給配水施設管理費の削減</li> <li>業務工程管理の徹底と時間外勤務手当の削減</li> </ul>

取組概要	月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			
		旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
1 公用車の廃止	計画	→																																				
	実績	→			◎★																																	
2 節電及び電話等の通信費の経費削減	計画																																					
	実績							◎																														
3 業務工程管理徹底による時間外勤務の削減	計画																																					
	実績							◎★																														
4	計画																																					
	実績																																					
5	計画																																					
	実績																																					
6	計画																																					
	実績																																					

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	1 公用車(サクシード)を4月30日に下水道課へ引渡し廃止した。	濁水による節水対策や核家族化の進行、企業等の節水などにより給水収益が減額となった。今後、状況の推移を把握すると共に更なる経費削減に努めていく。 今後、水需要等を含め経営分析を行い、持続可能な事業経営に努めていく。
実績(%)	2 節電の対策のため、6月26日からパソコンの省電力対策を行った。	
87.4	水道料金の催告書について、12月より封筒から圧着ハガキへの移行を行い、経費削減に努めた。	
未達成	3 業務工程管理表を6月5日に作成し、業務の工程管理に努め時間外勤務の削減に努めた。	
	経常利益は3月末で26,214,504円となった。	

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
32   新 公営企業会計(病院)の健全化	病院事業は本来独立採算で経営されるべきものであるが、公立病院には不採算医療や高度医療を担うといった使命があることから、その補填のための繰出しが一般会計からなされている。繰出しについては、原則として総務省自治財政局長通知の繰出し基準(基準内繰出し)を基本とし、収支均衡を目指して経営の健全化を進める。	菊川市立総合計画中期計画の推進(基準内繰出しを基本とし、経常収支比率100%を達成)  (従前値) H24 94.6% H23 97.0% ※中期計画報告書数値	菊川病院	経常収支比率 98% 95% ※目標値変更	経常収支比率 99%	経常収支比率 100%	・経営幹部による次年度方針の決定(1月) ・管理職への方針説明(2月) ・各部署でのアクションプラン・目標の設定(3月) ※アクションプランは地域・患者満足、収益と費用、業務改善、学習と成長の4つの視点で実施 ・個人目標の設定(4月) ・前年度の実績及び新年度行動計画の発表(5月) ・進捗管理(隔月)

取組概要	月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			
		旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
1 院長方針説明とヒアリング	計画		★			ヒア														★			ヒア															
	実績		★	方針説明					診療部ヒア											★	方針説明		★	診療部ヒア														
2 目標設定	計画																																					
	実績																																					
3 アクションプランの見直し	計画		検討																																			
	実績		検討																																			
4 アクションプランの実施	計画				発表会				(実行)																													
	実績				実行		★	発表会		実行・隔月進捗管理																												
5 事業評価委員会	計画				★																																	
	実績								★																													
6	計画																																					
	実績																																					

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期と後期の院長方針説明会を開催し、診療部を対象に院長ヒアリングを実施。</li> <li>・アクションプランは隔月で進捗を管理し、各部署長を対象に中間と期末のヒアリングを実施。2月22日に成果の発表会を開催し、次年度のアクションプランを作成。</li> <li>・平成26年度以降3か年の病院運営に関する第二次中期計画(案)を12月末に策定。計画の原案を1月7日に事業評価委員会で、1月21日に議会全員協議会で説明し、実施に向けて職員へ周知。(次年度の目標はこの計画に置き換える。)</li> <li>・平成25年度経常収支比率は99.7%の見込み。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度は、2年に一度の診療報酬改正の年であるが、実質マイナス改定であり、また消費税の税率アップにより支出が6千万円程度増える見込みで、経常収支比率100%を達成するためには本年以上の取組みが必要である。</li> </ul>
実績(%)		
100		
達成		

B 簡素で効率的な行政の実現

◆ 安定した財政基盤の構築

11 歳入の確保と地域経済の活性化

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
33   新   広告事業の検討	ネーミングライツ(命名権)も含めた公共施設への広告など新たな広告媒体の洗出しと検討を行うとともに、市ホームページや広報印刷物などにおいて引続き広告を募集します。 【新たな対象候補】市道、運動場、図書(雑誌)、広報、街灯など	平成25年度に各課において洗い出しと検討を実施し、可能なものから実施する。	各課	調査・検討・実施	実施(新規・継続)	実施(新規・継続)	【ネーミングライツ】調査検討、要綱制定、募集、選定委員会基本合意・契約締結、収入確保等 【広告】広告掲載要綱等の制定、実施マニュアルの策定 【その他】調査検討

取組概要	月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
1 広告事業対象費目の洗い出し(調査検討)	計画				→																																
	実績				→																																
2 広告掲載要綱他、要綱の制定、告示	計画				→																																
	実績				→																																
3 実施手順及び他市事例を踏まえたマニュアルの作成、周知	計画				→																																
	実績				→																																
4 【ネーミングライツ】再募集、基本合意・契約締結、収入確保等	計画				企業側の動向も見ながら再募集の実施を検討(9月まで)。																																
	実績				→																																
5	計画																																				
5	実績																																				
6	計画																																				
6	実績																																				

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	【広告事業】 税務課納税通知封筒及び社会教育課成人式しおりにおいて広告事業が実施された。	【広告事業】 翌年度に向け、他市の事例を参考に印刷製本だけでなくその他の費目において実施できるものがないか検討し、印刷製本とあわせて所管課に実施を促すよう、業務改善の表彰者の通知のタイミングに合わせるなど、タイミングを見て通知し、未実施の部門においても実施されるよう推進する。
実績(%)	【ネーミングライツ】 H25.9.30市道命名権料を受領(H25年度分157,500円) その他、菊川運動公園多目的グラウンドへの導入に向け、社会教育課へスケジュール等の情報提供を行った。	【ネーミングライツ】 平成26年度に導入を予定している菊川運動公園多目的グラウンドへの導入について、担当課と連携をとりながら進める。
100		
達成		

実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
34 継	静岡空港や東名高速道路、御前崎港などのインフラを有効に活用した企業誘致や、再生エネルギー産業など、新しい産業を誘致する。地元事業者には活性化などの各種セミナーを開催します。地域経済活性化懇話会を開催し、市内で新産業の創出をするなど、地域産業の強化に努めます。	H25～H27にかけて、3社以上の企業を誘致各種セミナーの定期開催 H27までに6次産業など新産業を1件以上創出	商工観光課	継続実施	継続実施	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊休地情報更新し、県などへの積極的な情報提供</li> <li>・企業向け補助制度の利用推進</li> <li>・再生可能エネルギー企業を中心に誘致推進</li> </ul>

取組概要	月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月				
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画
1 企業訪問(企業情報収集)													企業等訪問				東京地区企業訪問				名古屋地区企業訪問							
2 遊休地情報更新及び情報発信													遊休地情報更新・情報発信															
3 地元金融機関等との情報交換													情報交換															
4 企業誘致関連補助金情報提供及び企業誘致等奨励補助金制度創設													情報提供・支援制度検討															
5 再生可能エネルギー関連企業等の誘致推進													地元、関係機関との調整								河東2地区(石山・堀之内谷)起工式							
6 地域経済活性化懇話会、各種セミナーなど開催													地域経済活性化懇話会 ①								活性化セミナー ①							
																					活性化セミナー ②							
																					地域経済活性化懇話会 ②							

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	①市内既存企業訪問:52社(3月末)	①今後も積極的に市内企業を訪問し、情報交換を行うことで企業担当者と顔の見える関係づくりを継続的に努める。
実績(%)	②③④金融機関、不動産業者等から収集した遊休地17箇所の情報をまとめ、調査書を50部作成し、県内外の企業へ情報提供を行った。	②県外の企業訪問は、関心度の高い関東方面を重点的に行う。
100	⑤太陽光発電関連企業が河東地区に2社進出し、稼働に向けて事業が進められている。(石山、堀之内谷地区H27.2、今間地区H28.9稼働予定)	③④作成された遊休地情報を基に、関係機関との情報共有と連携を更に高める。
達成	⑥地域経済活性化懇話会は、第1回を10/3に、第2回は3/18に開催した。	⑤今後も新たな事業者誘致のため、情報収集・提供を行う。
	⑥菊川市活性化セミナーを、第1回を11/28に、第2回は2/12に開催した。(市内事業者等の参加人数延べ102名)	⑥地域経済活性化懇話会及びセミナー等の開催については、時期、内容を検討し、準備を進める。





実施メニュー	取組概要	数値目標	担当課	年次計画			平成25年度実施内容(計画)
				H25	H26	H27	
36   新	茶業の振興 茶価の低迷や担い手不足に対応した組織経営体の改善と、共同摘採などの新たな生産体系への取組みを促すため、中長期的視点に立った茶工場の経営計画書の作成を支援し、産地力の強化を図る。	平成27年度までに23茶工場実施	茶業振興課	3茶工場を支援	10茶工場を支援	10茶工場を支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の茶業振興計画を基に各茶工場の経営計画書の作成を支援する。</li> <li>・経営体を単位に懇談会を開催し経営改善に向けた取組みを助長する。</li> <li>・経営体が求める情報を提供するため関係機関の協力を求める。</li> </ul>

取組概要	月 旬	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月					
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下						
1 茶業活性化プロジェクト会議(指導者会議)	計画					★						★			★									★																
	実績						★			★		★			★									★			★													
2 経営計画書様式検討 ・実施茶工場の選定 ・経営実態調査	計画				-----						-----																													
	実績				-----						-----																													
3 経営改善計画策定茶工場の支援	計画																						-----																	
	実績																						-----																	
5 茶生産経営体育成研修会の開催	計画																																							
	実績																										★													
6 茶業活性化懇談会の開催(茶工場との意見交換会)	計画																																							
	実績																										★													

目標(%)	実施内容及び進捗状況(C)	課題と今後の取組み(A)
100	①茶業活性化プロジェクト会議の開催 研究会 10月29日 12月3日 3月5日	<p>○経営改善計画(経営ビジョン)を作成する茶工場3工場に対して6茶工場が作成した。この6工場は、作成した経営ビジョンの精度を更に高めていく必要がある。また、次年度以降も経営改革に取り組む茶工場の経営改善計画(経営ビジョン)の作成についてJA・県等と連携しながら支援していく。意識の低い共同茶工場には今後とも、意識改革を図っていく。</p> <p>○県茶業経営体質強化プロジェクト事業は、県内の10工場をモデル茶工場として位置づけ、本市では山西茶農協が選定された。経営アドバイザーの指導の下、4回の経営改善会議を開催し、年度内に経営改善計画(経営ビジョン)を作成した。</p>
実績(%)	③茶経営組織体研究会の参加経営体6茶工場の経営改善計画(経営ビジョン)作成をJA・中遠農林事務所・市が連携し、支援している。 6茶工場が経営改善計画(経営ビジョン)を作成し、内容等を研究会にて発表した。	
100	⑤茶生産経営体育成研修会を3回開催した。 11月8日 神尾金上茶農業協同組合 12月4日 六郷茶農業協同組合 12月6日 河城地区茶農協協議会	
達成	⑥茶業活性化懇談会を1回開催した。 10月18日 内田第1茶農業協同組合	